

AXIS S3016 Recorder

強力なPoEスイッチを搭載した16チャンネルレコーダー

AXIS S3016 Recorderは、最大16台のPoE Class 4装置に対応するPoEスイッチを搭載した1Uラックレコーダーです。4台の監視グレードのハードドライブとさまざまなRAIDレベルを用いることで、信頼性の高い録画を実現します。この高性能レコーダーには、ネットワーク装置接続用のギガビットスイッチと、超高解像度のビデオ録画用の2.5ギガビットアップリンクが搭載されています。また、5年間の保証が付いています。また、単一サイトシステムでも複数サイトシステムでも、既存システムのストレージとネットワークの拡張に使用できます。さらに、AXIS Companionにも、AXIS Camera Stationのビデオ管理ソフトウェアとモバイルアプリにも対応しています。

> PoEスイッチを搭載したラックレコーダー

> 容易な設置と操作

> 監視グレードのハードドライブ

> ビデオエクスポート用のUSBポート

> 5年保証



AXIS S3016 Recorder

バリエーション AXIS S3016 Recorder 8 TB
AXIS S3016 Recorder 16 TB
AXIS S3016 Recorder 32 TB

ハードウェア

プロセッサ	i.MX 8QuadMax
ストレージ	ホットスワップ可能な監視クラスHDD HDDスロット 総数: 4 空きHDDスロット: 0 8TB 一体型ストレージ: RAID 5以降6 TB 一体型容量 (RAID未搭載): 8 TB (4x2 TB) 16TB 一体型ストレージ: RAID 5以降12 TB 一体型容量 (RAID未搭載): 16 TB (4x4 TB) 32TB 一体型ストレージ: RAID 5以降24 TB 一体型容量 (RAID未搭載): 32 TB (4x8 TB)
RAID	工場出荷時のRAIDレベル: 5 サポートされているRAIDレベル: 0、1、5、6、10
スイッチ	搭載ポート数16、合計電源容量305 W Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at Class 4
電力	最大650 W、305 W PoE専用 100~240 V AC、50~60 Hz
電力消費量	(接続された装置の消費電力を除く) 通常消費電力 8 TB : 31 W 16 TB : 34 W 32 TB : 44 W 最大消費電力 8 TB : 37 W 16 TB : 41 W 32 TB : 49 W
コネクタ	フロント側: USB 3.0 x 1 リア側: PoE RJ45 1 Gbps x 16 AUX RJ45 2.5 Gbps x 1 LAN RJ45 2.5 Gbps x 1 LAN SFP 1 Gbps x 1 USB 2.0 x 1 電源コネクタ x 1

ビデオ

録画	最大16のビデオソースに対応、録画の合計ビットレートは最大256メガビット/秒
ビデオ圧縮	H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC)、H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) カメラのサポートに応じて
解像度	すべてのカメラ解像度をサポート
フレーム数	すべてのカメラフレームレートをサポート

音声

音声ストリーミング	カメラのサポートに応じた単方向の音声録音
音声エンコーディング	AAC カメラのサポートに応じて

ネットワーク

ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS ^a 、HTTP/2、TLS ^a 、SFTP、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP ^o 、DNS/DNSv6、NTP、NTS、RTSP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR
--------------------	--

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX [®] 、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については axis.com/developer-community を参照)。 ワンクリックによるクラウド接続
ビデオ管理システム	AXIS Companion および AXIS Camera Station (axis.com/vms で入手可能) に対応
イベントトリガー	ハードドライブエラー、ハードドライブ温度の警告、CPU温度の警告、ファンのエラー、PoEの給電容量超過、RAIDの警告

認証

製品のマーキング	UL/cUL、BIS、CE、VCCI、NOM、RCM、BSMI
サブライチエーション	TAA 準拠
EMC	EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2 オーストラリア/ニュージーランド: RCM AS/NZS CISPR 32 Class A カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A) 日本: VCCI Class A 米国: FCC Part 15 Subpart B Class A 台湾: CNS 15936
安全性	CAN/CSA C22.2 No. 62368-1、IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、RCM AS/NZS 62368.1:2018、IS 13252、BSMIマーク、NOM-019
環境	IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP20
ネットワーク	NIST SP500-267
サイバーセキュリティ	ETSI EN 303 645、FIPS 140
サイバーセキュリティ	
エッジセキュリティ	ソフトウェア: 署名付きOS、ダイジェスト認証、パスワード保護 ハードウェア: Axis Edge Vault サイバーセキュリティプラットフォーム TPM 2.0 (CC EAL4+、FIPS 140-2 Level 2)、セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、Axis デバイスID、セキュアキーストア、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ	IEEE 802.1X (EAP-TLS) ^a 、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS ^a 、TLS v1.2/v1.3 ^a 、Network Time Security (NTS)、X.509 証明書PKI
資料の費用	AXIS OS ハードニングガイド Axis 脆弱性管理ポリシー Axis セキュリティ開発モデル ドキュメントをダウンロードするには、 axis.com/support/cybersecurity/resources にアクセスしてください。 Axis のサイバーセキュリティのサポートの詳細については、 axis.com/cybersecurity にアクセスしてください。

概要

対応デバイス	ファームウェア 5.50 以降の Axis の装置 AXIS Companion ミニカメラおよびサードパーティ製カメラはサポートされていません
ケーシング	スチール製ケーシング カラー: 黒 NCS S 9000-N
フォームファクタ	1U ラック EIA-310 ラック対応
動作温度	温度: 0° C ~ 45° C 湿度: 10 ~ 85% RH (結露不可)
保管条件	温度: 20° C ~ 65° C 湿度: 5 ~ 90% RH (結露不可)
寸法	484 x 402 x 44.1 mm レールの最小奥行 ^b : 398 mm 製品設置奥行 ^c : 377 mm レールの調整可能範囲 ^d : 376 ~ 499 mm
重量	8 TB : 10.24 kg 16 TB : 10.08 kg 32 TB : 10.68 kg
パッケージ内容	レコーダー、ラックレール、フロントカバー、ゴム脚、インストールガイド、電源コード、ネジ
オプションアクセサリ	AXIS TS3901 Rail Extensions その他のアクセサリについては、 axis.com/products/axis-s3016 にアクセスしてください。
システムツール	AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリセレクター axis.com で入手可能

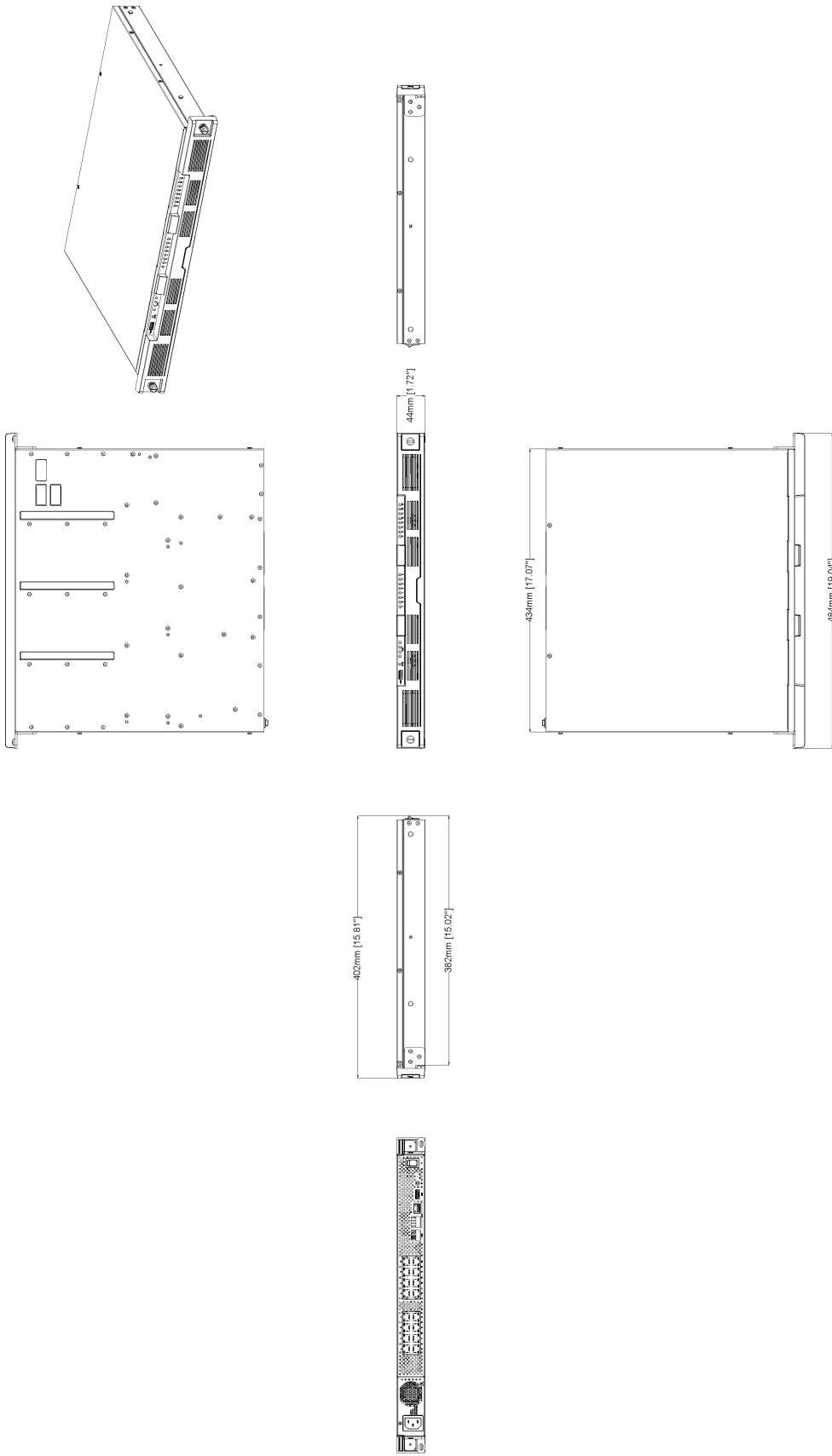
言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語(簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語(繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語
保証	5年保証、 axis.com/warranty を参照
製品番号	axis.com/products/axis-s3016#part-numbers で入手可能
サステナビリティ	
物質管理	PVC不使用 RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018) に準拠 REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、 echa.europa.eu を参照

材料 再生可能な炭素系プラスチックの含有率:63% (再生プラスチック)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任 axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については unglobalcompact.orgを参照)

- この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- フロントラックポストの外側表面からレールの端までの寸法。
- フロントラックポストの外側表面から製品の背面までの寸法。
- 前面と背面のラックポストの外側に面する面間の許容距離。

寸法図面

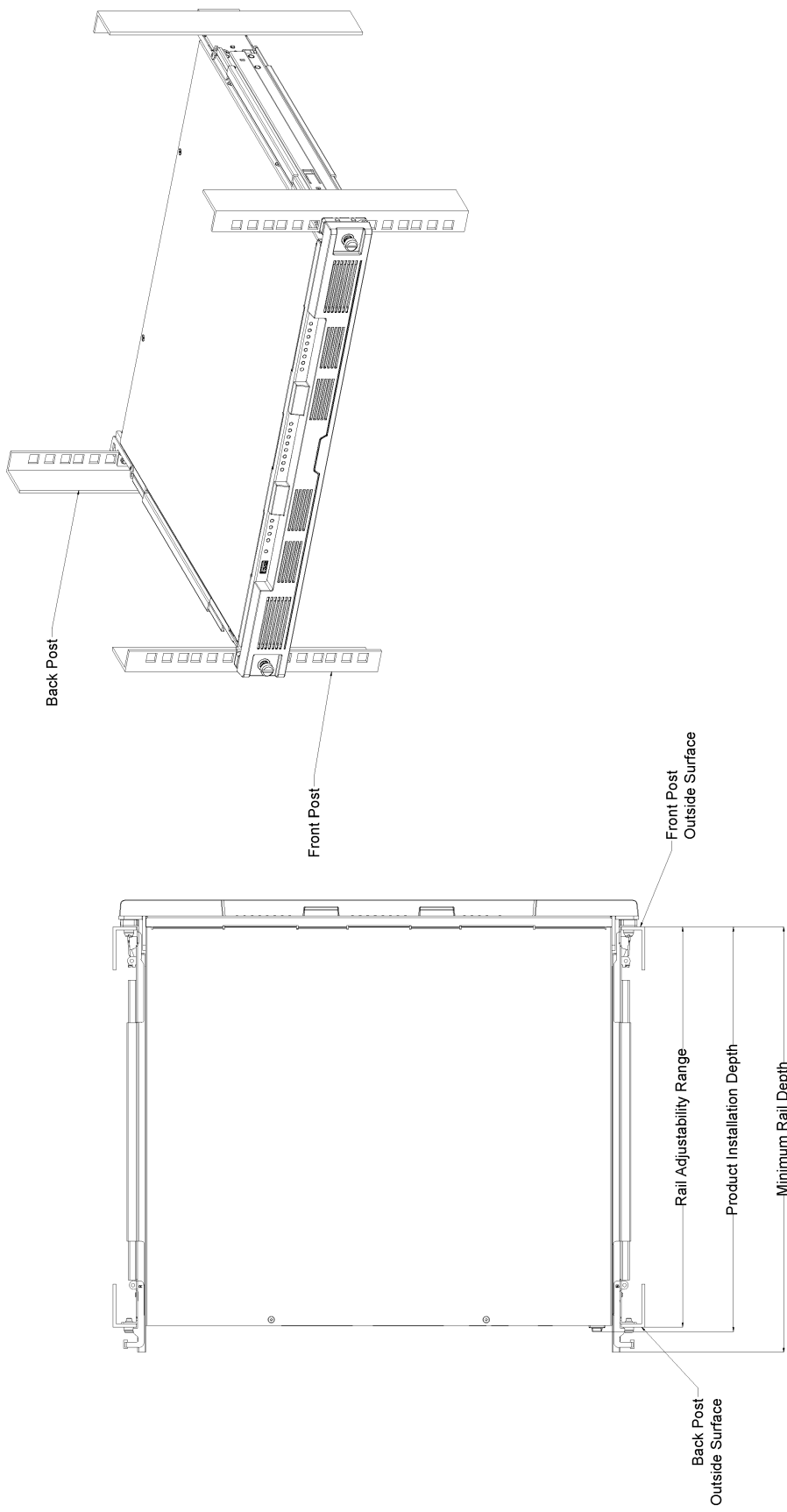


AXIS COMMUNICATIONS
AXIS S3016 Recorder

www.axis.com

Revision	v.01	Revision date	2023-09-13
Paper size	A4	Release date	2023-01-17
Created by	MS	Scale	1:8

© 2023 Axis Communications



AXIS COMMUNICATIONS **AXIS S3016 Recorder**

www.axis.com

Revision	v.01	Revision date	2023-09-13
Paper size	A4	Release date	2023-09-13
Created by	MS	Scale	1:5

© 2023 Axis Communications

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で

使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、axis.com/solutions/edge-vault/にアクセスしてください。

詳細については、axis.com/glossary/を参照してください。